



東京大学果樹園跡地の活用方法の検討 第4回検討会 実施報告

東京大学果樹園跡地の活用方法の検討において、第4回検討会を行いました。検討会には、21名の方にご参加いただき、これまでの実証実験などのふりかえりと事業計画（案）の提案を行いました。

また、第3回検討会同様、NPO法人西湘をあそぶ会代表の原大祐氏にファシリテーターとしてご参加いただきました。

■第4回検討会概要

- ・日 時：平成31年1月27日（日）10：00～12：30
- ・場 所：町民センター 2A クラブ室
- ・参加者：21名
- ・内 容：1) ふりかえりと報告
 - * 第3回検討会でいただいた意見のふりかえりと第2,3回スポーツ広場活動部会報告、またドッグランに対する意見の報告を行いました2) 事業計画（案）の提案
 - * 今後の組織体制と事業内容（案）について提案しました3) 今後のスケジュール
 - * 次回実証実験で行うキャンプの内容と、今後の検討会のスケジュールについて説明しました



【ドッグランに対する意見のまとめ】

以下は、第3回検討会から現在（1月27日時点）までに町へ寄せられた主な意見です。

■良い点

- ・ 広さや土の感じは良い。
- ・ 看板が良い。
- ・ 今のところマナーをしっかりと守っている利用が多い。

■改善すべき点

- ・ 柵の間隔が大きく、小型犬だとすり抜けてしまう。
- ・ 中型・大型犬は柵を越えてしまう。
- ・ 大型犬には狭い。

■その他意見

- ・ QRコードや意見箱を設置して利用者の声を聞いた方が良い。
- ・ 整備前に町民アンケートなどで需要を把握すべきではなかったのか。
- ・ 大型犬と小型犬を分けた方が良い。
- ・ 小便を洗い流す用の水や、わんちゃんの飲み水があると良い。
- ・ 有料化して料金を取るなら、もう少し設備を充実させてほしい。



©東京ハイジ/二宮町

主な意見



©東京ハイジノ二番町

■協議会について

- 会費5000円/年や草刈りの参加は重たい。方向性を決めてもらいたい。
- 参加団体のコンセプトや草刈り方法の方向性など、大枠を協議会で決める必要がある。
- 跡地を今後も活用していくために優先する柱をしっかりと決めた方が良い。

→参加方針決定、コンセプトや方向性の検討が必要

■組織体制について

- 個人会員が議決権をグループと同じように持っているのはどうかと思う。
- 個人参加するための定義が必要。
- 部会を作って部会ごとに意見を集約して、協議会にあげる形にすれば、個人でも団体でも入れるのではないか。
- 個人の集合体を作って議決権を持たせても良いのではないか。

→個人の参加方法や部会設置の検討が必要

■エリア分けについて

- 今までの利用の継続を踏まえ、グラウンド以外のエリアの利用方法を定めるのも大切。
- 全てのエリアを営利でやるのは大変。営利と非営利のエリア分けをはっきり決めた方が良い。

→エリアの区分の検討が必要

■予約体制について

- スポーツ広場とそれ以外の定義分けがちゃんとできていないのではないか。
- グラウンドを専有したら、その周りも使用可能というシステムもあった方が良くと思う。
- 短期の予約だけでなく長期の予約もできると良い。
- 子どもの遊びは多様なため、専有の考え方の整理が必要。
- スポーツ広場だけでなくそれ以外のエリアも有料にし、全ての利用団体が利用料を支払うべき

→予約方法の確立、専有の定義決めの検討が必要

■跡地内の整備について

- 整備でやるべき事は草刈りだけでなく、果樹の剪定などもある。
- 草刈りは休日だけでなく平日も行わないと間に合わないと思う。
- 草刈りを平日やるとなっても、働いてる人やお母さん達は参加が難しいと思う。

→整備計画の検討が必要



©東京ハイジノ二番町

第4回検討会でもたくさんのご意見をありがとうございました。
第5回検討会では、本検討会での
ご意見をもとに、事業計画書
(案)を作成し、内容の報告を行
う予定です。



検討会の様子